

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		指定ごみ袋販売事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	市民部	課長名	松永 公明
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進		所属課	環境衛生課	担当者名	田中 奏子
	基本事業	22	リサイクルの推進		所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	
		1	4	2	1	10193	成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6-1	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 合志市指定のごみ袋の製作、ごみ袋を売りさばき店に販売する								
【業務の流れ】 ごみ袋の製作(業者選定、仕様書渡し、入札、契約、検査、納品、支払い)事務 収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋受け渡し、売捌き手数料の支払い								
【主な予算費目】 需用費、役務費								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合する
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。 ごみ袋販売枚数 可燃ごみ 1,814,700枚、資源ごみ 559,150枚、埋立ごみ 53,250枚、粗大ごみステッカー 2,177枚 ごみ袋収入 45,663,000円	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 収入証紙買受申込書枚数 枚 イ ごみ袋受け渡し回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ごみ袋売捌き店	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 売捌き店の数 件 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 迅速、正確なごみ袋の受け渡しをする	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア ごみ袋販売に要する時間 時間 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 分別して排出する	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 1人当たりのリサイクル資源の量 kg イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	0	42,580	39,488	25,139	42,580		42,580
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	5	6	7	7		7
		延べ業務時間	時間	1,809	1,809	1,857	1,680	2,200	2,200		2,200
(B) 人件費計		千円	7,182	7,200	7,391	6,686	8,756	8,756	8,756		
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,182	7,200	49,971	46,174	33,895	51,336	51,336		
活動指標		枚	1114	1179	1200	1103	1200	1320	1320		
対象指標		件	120	130	140	140	140	140	140		
成果指標		時間	1809	1809	1857	1680	2200	2200	2200		
上位成果指標		kg	42	45	45	41	45	45	45		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成6年度にごみ袋が有料になってから開始した

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

開始当初に比べると売捌き店は増加している。

人口の増加及びごみの分別の種類が増加したことに伴い、ごみ袋の製作枚数が増え、納入に係る時間が増加した

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

商工会から販売を受託したいという声があがっている

職員から保管場所を確保して欲しいとの要望がある

売りさばき店から合志庁舎以外でも販売して欲しいとの要望がある

事務事業名	指定ごみ袋販売事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 迅速正確なごみ袋の受け渡しをすることにより、ごみ袋受け渡しに関する事務の正確性の確保、迅速な対応による申請者の満足度の向上を図ることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ごみ袋を市民に供給するために必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ システム上、納付書作成に時間がかかっている。商工会等に委託することも考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ごみ袋を市民に供給するためには必ず必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) 他の事業所(たとえば商工会)でも販売可能 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ごみ袋の作成費と売捌き手数料のみであり、削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 電算システムをさらに向上させることで、1枚当たりの納付書作成にかかる時間を短縮できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 申請者は収入証紙売捌き店であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)